

令和元年度 第5回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨案

1. 日 時：令和2年3月25日(水) 13時30分～14時25分
2. 場 所：【鹿屋体育大会会場】鹿屋体育大学管理棟2階 大会議室
【東京会場】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター2階 多目的室4
3. 出席者：【学内委員】松下、森(司)、石田、原田の各委員
【学外委員】泉、上治、中西、宮嶋の各委員
4. 列席者：緒方監事、山田附属図書館長、荻田学長補佐、瓜田学長補佐、濱田学長補佐、
前田学長補佐、事務局次長兼教務課長、学生課長、学術図書情報課長、総務課長、
経営戦略課長、財務課長、施設課長、監査室長

5. 内 容

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)
議事に先立ち、事務局から会議のスケジュールおよび配付資料の確認が行われた。

1) 前回議事要旨確認

令和元年度第4回経営協議会議事要旨案について確定された。

2) 審議事項

(1) 令和2年度鹿屋体育大学予算案(当初予算)について

石田委員から配付資料に基づき、令和2年度鹿屋体育大学予算案(当初予算)について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) 令和2年度国立大学法人鹿屋体育大学年度計画について

石田委員から配付資料に基づき、令和2年度国立大学法人鹿屋体育大学年度計画について説明があり、審議の結果、年度計画【32-2】グローバル化について、新型コロナウイルス感染症対策に関する文言を加えることを検討することを条件に、了承された。

○新型コロナウイルス感染症による授業等への影響があるが、今回の年度計画への反映はあるのか。

●年度計画を策定する段階では考慮していない。東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期になると、どのような表現にすればいいのか考えている。

○授業数も変わってくるのか。読み切れない部分をどうしていくのか。

●4月の授業開始は4月16日に変更し、GW期間中の祝日や木曜の5限目に授業を実施するなどして最初の遅れを取り戻す予定である。

○【16】学生への支援について、進路相談や就職先へのバックアップが足りないのではないかと。特にスポーツ庁や文部科学省など中央官庁への就職も含めて、積極的にネットワークづくりを行うためにも進路相談や就職先へのバックアップを行う旨を加えてほしい。

●実行計画に書き加え、取り組んでいきたい。

○【32-2】グローバル化に関して、新型コロナウイルス感染症対策の状況を見据えつつというような文言を入れたほうがいいのではないかと。来年度の事業に相当な影響があると思われる。

●ご指摘のとおりであるので、検討させていただきたい。

○【41】男女共同参画について、中期計画では、管理職に占める女性の割合を20%以上にするとあるが、そのための細かな方策が曖昧である。目標数字を入れたほうがいいのではないか。

●数字を入れるのは非常に難しいが、最終年度までには20%以上を達成したい。

●現時点では20%に近い数字であるが、次年度もしっかり取り組みたい。

(3) 国立大学法人鹿屋体育大学職員給与規則等の一部改正について

羽室総務課長から配付資料に基づき、鹿屋体育大学職員給与規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3) 報告事項

(1) 体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラムの実施に係る連携及び協力に関する協定書の一部を改定する協定の締結について

永松経営戦略課長から配付資料に基づき、体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラムの実施に係る連携及び協力に関する協定書の一部を改定する協定の締結について報告があった。

(2) 平成28年度第4回経営協議会での学外委員からの意見・提言等に関する対応について

永松経営戦略課長から配付資料に基づき、平成28年度第4回経営協議会での学外委員からの意見・提言等に関する対応について報告があった。

○イベントの対象はどのような方々か。

●地域の方すべてを対象にしている。

(3) 令和2年度入学生の入試状況について

森委員から配付資料に基づき、令和2年度入学生の入試状況について報告があった。

(4) 令和元年度授業料免除等の実施状況について

濱田学長補佐から配付資料に基づき、令和元年度授業料免除等の実施状況について報告があった。

4) その他

(1) 卒業式・入学式の開催について

松下学長から、今年度の卒業式を中止し、希望者のみに学位記を手渡しで行ったことの報告があった。また、入学式は中止にすることとし、オリエンテーションを短時間で行うことや授業の開始等について説明があった。

(2) 令和2年度の経営協議会開催日程について

羽室総務課長から配付資料に基づき、令和2年度の経営協議会開催日程について説明があった。

(3) 意見交換

時間まで意見交換が行われた。内容は以下のとおり。

○スポーツ庁が毎年行っている子供の体力測定の結果が戦後最低になった。成人のスポーツ実施率も下がっており、厳しい状況となっている。県や市と連携し、子供の体力増強や成人のスポーツ参加に鹿屋体育大学にも力添えをいただきたい。

●現在、公開講座を開設したり、小学校体育専科の人材を育てる取り組みを第四期中期目標期間に向けて検討を開始している。

- スポーツ庁の女性アスリートに対する研究助成があるが、鹿屋体育大学からは申請がないので、ぜひ来年度は申請してほしい。
- 教員に通知はしているが、積極的に申請するよう働きかけていきたい。
- （公財）JKAでも同様に女性のスポーツ研究助成を行っている。去年は4件くらいしか申請が無かったので、ぜひ申請してほしい。

以上